

スマートものづくり研究会

栃木県産業技術センター 機械電子技術部 電子応用研究室

研究会概要（R元年度～）

- 【目的】・ 製造現場における課題（設備稼働率や製品の品質向上等）解決のためのデータ収集・AI利活用を行う人材の育成
- ・ IoT、AIの利活用による県内ものづくり企業の生産性向上や新製品開発を促進、競争力強化と収益力向上
- 【対象】・ 県内ものづくり中小企業の従業員 等
- 【活動内容】・ 先進事例やセンターのこれまでの取組と支援内容の紹介
- ・ IoT、AIの生産現場への適用を体験するハンズオン
- ・ 各企業におけるIoT、AI利活用に関する取組の支援



<R6年度活動内容>

開催日	参加者数		活 動 内 容
6月25日(火)	21社32名	第1回	研究会活動計画説明
7月22日(月)	15社18名	第2回	製造現場へのロボット導入最新動向 ロボット導入動向紹介、操作体験実習
9月5日(木)	23社27名	第3回	製造現場へのロボット導入事例紹介 最新協働ロボット紹介、導入事例紹介、操作体験
9月27日(金)	11社14名	第4回	外観検査に活用できるAI技術 外観検査AIシステムの紹介、Pythonによる画像処理実習
10月24日(木)	12社18名	第5回	PLCの制御とIoT化（外部講師） PLCの基礎知識、PLCのサーバ機能活用実習
11月20日(水)	10社14名	第6回	活用先進事例紹介（現場見学） スマートものづくりを先進する県内企業の現地見学
12月20日(金)	10社10名	第7回	小型マイコンボードの基礎 M5Stackを用いたIoT構築実習
2月18日(火)	48社80名	第8回	研究会の活動報告

※ R7年度は、IoT、AIに加え、ロボットなどFAツールを紹介する予定
関連技術について、企業の製造現場への導入支援事業を実施予定
導入支援の結果は第8回で報告予定

取組の一例

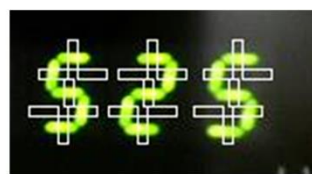
【稼働状況の把握】

クランプメータ（電流計）により、装置電源に流れる電流値の変動から、装置の稼働状況を推定、記録するシステムを開発した。



【メータ自動読取り】

7セグ表示器やアナログメータから値を読取るプログラムを作成し、値の変化を連続的に記録し、見える化した。



2020/4デマンドグラフ



お問い合わせ先

栃木県産業技術センター 機械電子技術部
〒321-3226 宇都宮市ゆいの杜1丁目5番20号
Mail : sangise-denshi@pref.tochigi.lg.jp

TEL : 028-670-3396

URL : <https://iri.pref.tochigi.lg.jp/index.php?id=5182>



研究会ホームページ



Industrial Technology Center of Tochigi Prefecture